記 者 発 表 資 料

平成２３年２月１５日
国　土　交　通　省
磐 城 国 道 事 務 所

国道６号常磐バイパス「鮫川大橋下部工工事」の行政機関担当者向けの現場見学会を開催します。

国道６号常磐バイパスのいわき市錦町川原地内で行っている「鮫川大橋下部工工事」は、ニューマチックケーソン工法で施工しています。

この工法は、水上部の大規模な橋脚工事等で用いられるもので、福島県内での施工実績は非常に少ない工法です。

このほど、同工事（ニューマチックケーソン工法）の行政機関担当者向けの現場見学会を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

◆開催日時
２月２２日（火）１３：３０～１５：００

◆開催場所
いわき市錦町川原地内（国道６号常磐バイパス事業用地内）
別添「鮫川大橋下部工工事案内図」のとおり

◆対象者
いわき管内の行政機関（国・県・市）の担当者

◆取材を希望される報道関係者の方へ
駐車場の関係から、取材を希望される場合は、下記までお申し込み下さい。
申し込み期限：平成２３年２月１８日（金）
申し込み先：磐城国道事務所　調査課　吉田
ＴＥＬ　０２４６－２３－０９６３
ＦＡＸ　０２４６－２５－０２４１

◆ニューマチックケーソン工法
ニューマチックケーソン工法（Pneumatic caisson method）の「pneumatic」は「空気の」という意味で、「caisson」は「函（はこ）」を意味します。別名、「潜函工法」とも呼ばれています。おもに鉄筋コンクリート製の函を地上で構築し、函下部に気密な作業室を設け、ここに地下水圧に見合った圧縮空気を送り込むことにより、地下水の侵入を防ぎます。そして、掘削・排土を行いながら、その函を地中に沈めることで、橋梁や建物の基礎として活用されています。（別添「常磐バイパス鮫川大橋下部工工事工事概要」参照）

問　い　合　わ　せ　先

国土交通省　東北地方整備局　磐城国道事務所
電話番号：０２４６－２３－２２１１
副所長　　柴田　孝助（内線204）
調査課長　　島田　正義（内線451）

発表記者会等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市広報広聴課、福島建設工業新聞

鮫川大橋下部工工事　案内図





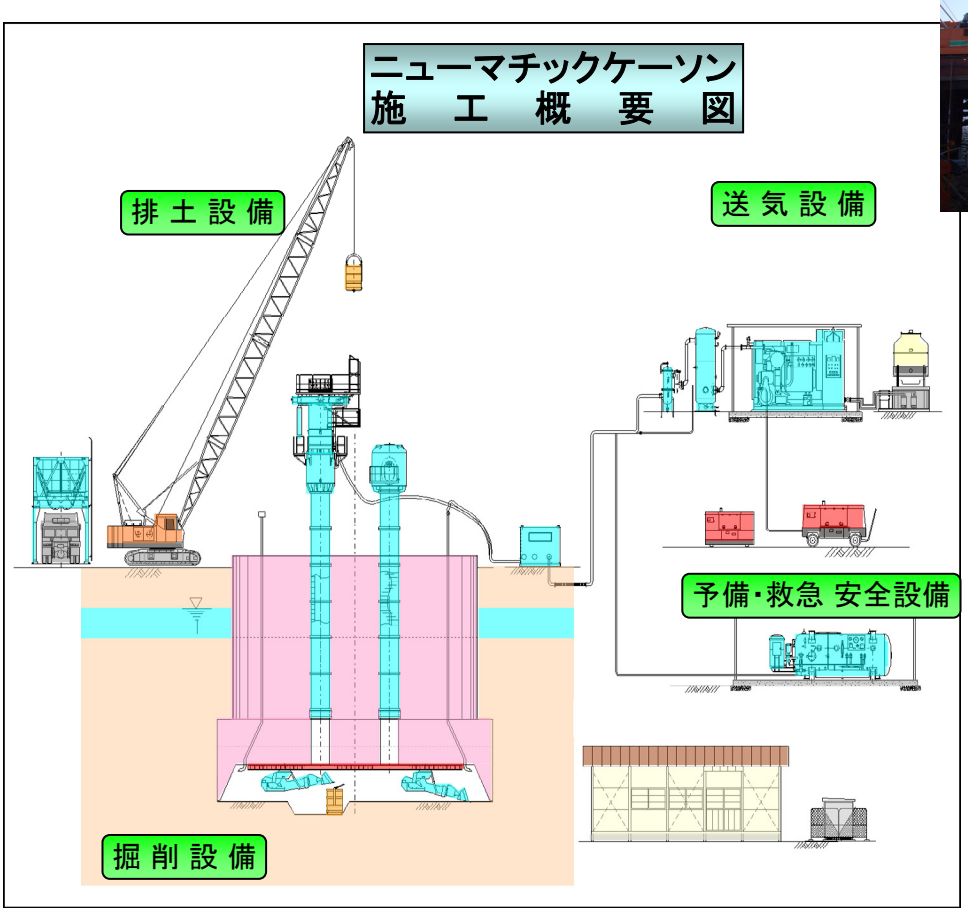
常磐バイパス　鮫川大橋下部工工事　工事概要

工　事　名：**平成21～23年度　鮫川大橋下部工工事**
工事場所：いわき市錦町川原　地内
工　　期：平成22年3月17日～平成23年6月30日
工事内容：**橋脚工　ニューマチックケーソン基礎 4基**
・底面積　P6　8.5×5.5=47m2
P7　8.5×5.5=47m2
P8　12.5×5.5=69m2
P9　12.5×5.5=69m2
・沈下長　L=12.830～13.380m
・掘削土量　ΣV=3018.2m3


橋上からの工事の様子







橋脚正面図

